

学校法人白頭学院  
理事会・評議会 貴下

## 2020年度 学校関係者評価

2021年3月22日  
学校法人白頭学院  
建国高等学校  
学校関係者評価委員会

### ○学校関係者評価実施について

- ・日時 2021年2月15日
- ・場所：Web実施
- ・学校関係者評価委員会構成（参加者）：4名  
李千香子（PTA会長）、洪久子（PTA）、中地雪子（PTA）  
洪隆男（教頭）

### ○学校関係者評価内容

- ・生徒・保護者のアンケート並びに教員による自己評価に対してその妥当性を評価し、また改善法案などの意見交換を実施。

重点目標：A 「学校の教育理念や歴史を理解し、学校に誇りを持つ。」について

肯定的な意見について、保護者が86.3%なのに対して、生徒71.7%、さらに教員に至っては61.0%と、外から見ている保護者より、実際学校生活を送っている生徒、先生は否定的な意見が多く見られる。生徒は民族学校であることに対して大きな期待をもって入学しているが、実際とのギャップを感じてることの表れと考えられる。また、韓国人ではない生徒が多い高校では、学校の歴史や理念など、根底にある建国の存在意義について理解を深めることが難しいのかもしれない。生徒主体で韓国の学生との交流など、外部への発信の機会を増やすのはどうか。自分たちの学校を紹介する機会があることで、自ら建国について調べるなど、理解が深まり誇りを持てるようになると思う。

重点目標：B 「自らの進路を主体的に考え、学習に生かすことができる。」について

生徒・保護者・教員の3者とも、達成度はBだか、安定的な満足度がうかがえる。

重点目標：C 「生徒にとってかけがえのない学校生活を充実させる。」について

生徒の集計では、設問9が1番低い評価となっているのに対して、保護者、教員の評価が高い結果となった。思春期の心が不安定な時期で、子供達の悩みは多種多様であるが、誰にも相談出来ずに苦しんでいる生徒がいることが分かる。スクールカウンセラーを活用しやすい環境作りや、公の機関の相談室について案内する回数を増やすなど、相談できる選択肢がある事を提示するのが良いと思う。

重点目標：D 「常に最良の教育環境を提供する。」について

設問11については、教員・保護者と比べ生徒の評価が68%と低く、温度差が感じられる。

重点目標：E 「国際社会を見据え、韓国人としての矜持や国語（韓国語）を学ぶ礎を築く。」について

設問13の評価が生徒・保護者・教員の3者とも高い事から、生徒達が国語の教科に対してしっかり取り組んでいることが分かる

その他

- 今年からの懇談で子供達が選んだ先生と懇談ができるようで、今までにないシステムであり、より良い環境で子供達と向き合う姿勢は良いことではと思えた。授業に関しても同じ取り組みがあれば良いのではないか。
- 英語の授業に関しては外国の先生ともっとふれあい話す機会があれば良いと思う。
- コロナ禍で色々な制限の中それでも形を変えて取り入れて頂いたので保護者費として、大変嬉しく思った。